

Our Chalet Helen Storrow Seminar 2012 'Young Women Leading for a Green Future'



- 【事業名】 ヘレンストロー セミナー
- 【会 場】 アワシャレー (スイス アデルボーデン)
- 【日 程】 平成24年3月14日(水)～19日(月)
- 【テーマ】 「環境に優しい未来へ導く若い女性」
- 【目 的】 実践的なリーダーシップ開発や、現在の環境問題について学び、参加者自身がチェンジエージェントとして良い変化をもたらす指導者となる。
- 【参加者】 27カ国 30名

ヘレンストロー セミナーは、世界連盟初のワールドセンター、アワシャレーの共同創始者であるヘレン・ストロー氏にちなみ開催されたセミナー。

リーダーとしての私

WAGGGSおよびWLDP (WAGGGS Leadership Development Programme) について学び、世界市民とはどのような人物か、また世界レベルのリーダーシップにはなにかについて学びました。

真のリーダーシップについて学んだあとにこれまでのリーダーとしての自分を振り返りました。自らがリーダーシップを発揮できる場を再確認し、自分が想像する理想のリーダー像とはどんな人物か言葉にしてみんなで共有しました。また、過去のリーダー経験からなどから得た課題を自己課題、パトロール課題、全体課題に分け、今回のセミナー中の課題として付箋に書き、ポスターに貼りました。



価値観について

2日目は“価値観”について学びました。家族・愛・友人・誠実さ・チャレンジ精神・お金など人生における「信念」や「考え」になりそうな単語が書かれたカードの中から5つだけ最も自分が人生において譲れないものを選びました。そのカードをランダムに人と交換しました。すると最初に自分が選んだ単語とは全くちがうものになってしまった人もいれば、似たような単語が集まった人もいました。同世代で同じようなモチベーションをもってこのセミナーに参加した仲間の中でもこんなにも価値観の違いが存在することが明らかになりました。スカウトをサポートする上で彼女たちの価値観を深く理解し、指導者の価値観を押し付けられるのではなく、根っことなる価値観から木が育ち、葉を付け、実がなるようなサポートが最も重要だということを知りました。こんなにも価値観について考えたことがなかったので、私の価値観についての考えも変わりました。



インターナショナルナイト

参加国27カ国、民族衣装を着ての各ブースで自国の食べ物や民芸品などを並べ、各国の文化交流をしました。また、この夜に参加前に出されていた課題の自国の環境プロジェクトについてまとめたポスターの発表もしました。私はピースプロジェクト‘Greener × Greener’と東日本大震災、日本の食料自給率の課題について発表しました。



ワークショップ キャンペーンの企画

「コミュニケーションスキル」「メディアと連携するには」「人に影響をあたえるには」「キャンペーンの企画」と4つある選択肢の中から、私は「キャンペーンの企画」を選びました。なにかを活動する際に最も難しいことはその活動をどうやって人々を巻き込んでいくかであると思ったからです。ある事例をあげ、一人ひとり違う立場に立ってチェックリストにそって、段階を踏みながらお互いがお互いを納得させ、活動に巻き込んでいけるかについて考えました。

スノーアクティビティ

アクティビティごとに毎回一人パトロールリーダーを決めて、与えられたリーダーへの課題とチームへの課題をこなすものでした。リーダー課題とチーム課題がマッチし、うまく機能してチーム全体でスムーズに活動できるものや、お互いの課題が全く違い混乱してうまく機能しないものもありました。どのような状況であってもリーダーは柔軟に対応し課題をとかなければなりません。リーダーの柔軟さやチームワークを試されるものでした。



スイスナイト

アワシャレー恒例のスイスナイトをやりました。スイスの文化についてのゲームや、ゲストのアルプホルン奏者の演奏を聞きました。チョコフォンデュも堪能し、インターナショナルナイトと同じくらい楽しい夜でした。



私たちの挑戦

セミナー中、全体で一人当たりの水の使用量を減らす挑戦をしました。シャワー中、体を流さないときは水を止める。歯を磨いている時は水を止める。シャワーの回数を減らす。など一人ひとりが工夫し水を節約しました。初日は一人当たり110ℓだった水使用量も、最終日には93.1ℓと、16.9ℓもの水を節約することに成功しました。



マイプロジェクト

今回、私はセミナーの事後課題としてプロジェクトを考え持ち帰ってきました。日本の食料自給率の課題もあって、なにか食べ物に関するプロジェクトにしたいと思い、ベジタリアンフードに目を付けました。ベジタリアンという言葉は日本ではあまり親しみがない言葉かもしれませんが、しかし、外国に行くと、ファーストフード店でさえベジタリアンフードが用意されています。ベジタリアンには宗教、思想など様々な理由があります。また、環境とも大きく関係しているのです。家畜には、飼育するためのえさや水が必要です。輸入にもエネルギーが使われています。人が直接食べることのできる農作物をたべれば、これらのエネルギーを節約することができます。このような理由から、私は、キャンプで作れるベジタリアンフードのレシピ本を作りたいと思っています。

コメント



約一週間という短い期間でしたが、四六時中英語に浸り、プロジェクトワークに四苦八苦し、挫けそうにもなりました。しかし、必ず手を差し伸べてくれる最高の仲間に出会え、お互いの経験、考えを共有し、日本では体験できない体験をし得た思い出。

アワシャレーで過ごした日々は毎日が挑戦で、新しい発見ばかりでした。同年代のリーダーと過ごす中で、自分を見つめなおし、いつまでもスカウトらしさが抜けなかった私に、リーダーとしての自覚を強く意識できるきっかけにもなりました。

価値観の違いを押しつけでも、言い教えるのではなく、一人ひとりの価値観の違いを理解し、尊重しながら、支えるように、気付かせるようにスカウトと一緒に活動していくことが大切なのだ、セミナーを通じて、サポートリーダー方をみて気付かされました。

今回、得たものを無駄にせず、一步ずつ自分が思うリーダー像に近付けていけたらと思います。また、今回のセミナーの事後課題の環境プロジェクトはFacebookなどを通じて、詳細を発信していく予定なので、みなさんもご協力よろしくお願いします。

